

阪神高速は、関西の暮らしや経済・社会活動を下支えするインフラ企業として、2025大阪・関西万博の成功と関西経済のさらなる発展に貢献するため、万博関連プロジェクトを推進しています。

1. 交通円滑化への貢献

別添1

- ① シャトルバスによるアクセスルートとなる淀川左岸線(2期)の整備
- ② 万博関連車両の交通需要に対応するためのボトルネック対策等の実施
 - ◇ 湾岸舞洲出口・天保山JCTの2車線化 <2024.5-6完了>
 - ◇ 阿波座<2024.5完了>・喜連瓜破<2024.12完了>の大規模更新工事の計画的実施 等
- ③ ETCの活用による「万博P&R利用料金」におけるダイナミックプライシングの実施を通じた混雑路線のう回利用促進

2. 多様なお客さまサービス提供

別添2

- ① パーキングエリア(PA)でのサービス提供
 - ◇ 5号湾岸線中島PA(泉佐野方面行)のオープン
 - ◇ コンシェルジュサービス、ピクトグラム表示、ハラル食品の提供、授乳室の設置 等
- ② LINE公式アカウント等を活用した万博関連情報の提供

3. 地域のにぎわい創出

別添3

- ① 長大橋や中之島橋脚におけるライトアップの実施
- ② 道路構造物の美装化(千日前付近(常設足場)等)
- ③ 沿線地域の魅力を紹介するイベントのパーキングエリアでの開催、観光情報や地域情報の発信

4. 新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

別添4

- ① 万博会場へのシャトルバスアクセスルートにおける自動運転車の走行をインフラ側から支援する合流支援技術・先読み情報提供の実装
- ② リアルタイムな交通状況を予測し一人ひとりと交通体にとって最適な移動の組合せを導出する、デジタルツイン技術を活用したモビリティサービスの開発に関する実証実験や万博MaaSへの技術協力等

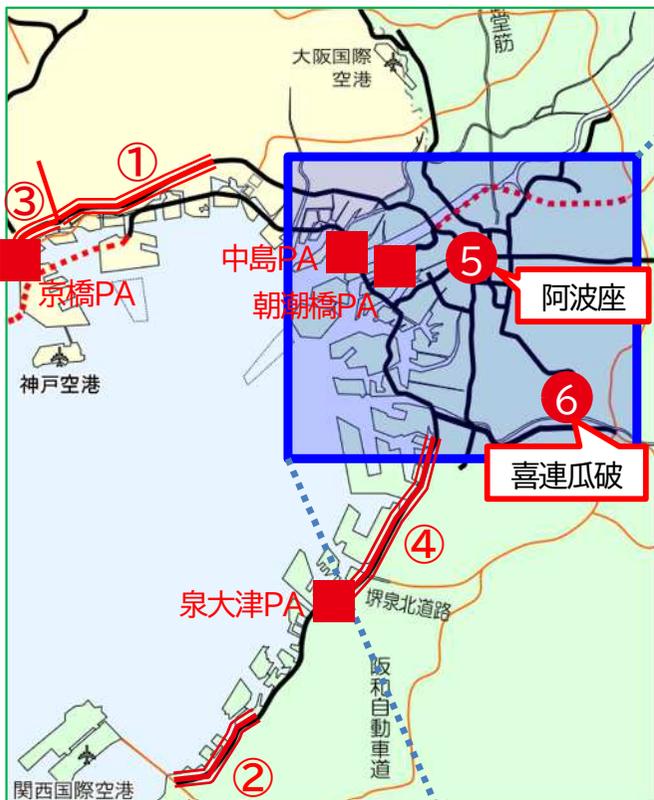
5. 万博(バーチャル会場)への出展

別添5

水上・陸上交通の結節点として発展してきた「サステナブル・シティ」大阪・関西の歴史と阪神高速の未来像を発信し、先人達の努力・営み・思いを次世代に継承

大阪・関西万博の開催に向けた阪神高速の取り組み

(取組箇所図)



リニューアルプロジェクトを計画的に実施

【2022年度以降に完了したリニューアル工事】

- ① 3号神戸線 摩耶-芦屋(2022年4月)
- ② 4号湾岸線 貝塚-りんくうJCT(2022年11月)
- ③ 3号神戸線 京橋-摩耶(2023年5・6月)
- ④ 4号湾岸線 大浜-泉大津(2024年4月)

【長期間の本線の車線規制・通行止による大規模更新等工事】

- ⑤ 阿波座(16号大阪港線)2022年6月~2024年5月
- ⑥ 喜連瓜破(14号松原線)2022年6月~2024年12月

1. 交通円滑化への貢献

① シャトルバス運行に向けたアクセスルート整備

万博会場へのシャトルバスのアクセスルートとなる淀川左岸線2期区間の整備に、関係自治体と協力して取り組んでいます。



② ボトルネック対策

湾岸舞洲出口及び天保山JCT渡り線(大阪市内→神戸方面)の車線数を1車線から2車線に改良しました。(2024年6月)

天保山JCTの2車線化



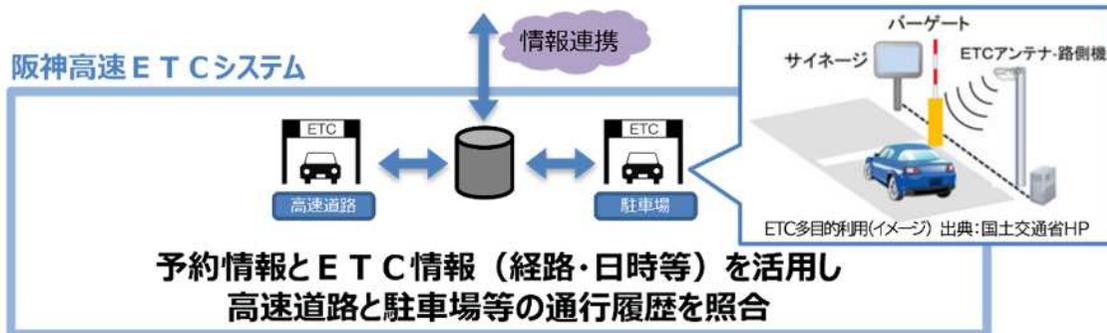
③ 「万博P&R利用料金」におけるダイナミックプライシングの実施

混雑する時期・時間帯を避けたご利用や、阪神高速の特定出口や大阪中心部の混雑区間の迂回ルートをご利用の皆さまを対象に、ETCシステムと万博P&R予約決済システムの連携により駐車場等料金を相対的に引き下げるなどダイナミックプライシングを実現します。

万博P & R 予約決済システム



阪神高速ETCシステム



2. 多様なお客さまサービス提供

① パーキングエリアでのインバウンド対応等

コンシェルジュサービスや多言語表示、ピクトグラム表示等により、多様なお客さま等への案内等を充実させます。



大阪府内産木材を活用したコンシェルジュ室とインフォメーション



ピクトグラムや多言語表記によるわかりやすいご案内



多様なニーズに応えるサービスの提供

② LINE公式アカウントによる情報提供

阪神高速に関するオールインワンの情報提供サービス「LINE公式アカウント」を機能強化^(※)し、万博に来場されるお客さまに阪神高速の交通情報などニーズに応じたタイムリーな情報をご提供します。

※ 機能強化の内容

- ・万博関連情報の提供のためのリッチメニューのタブ化
- ・料金検索機能の充実
- ・ETC利用履歴提供サービスとの連携
- ・情報配信機能の強化

お客さまのニーズ等	情報の内容	情報のイメージ
<ul style="list-style-type: none"> ・経路や料金を知りたい ・交通状況に応じてスムーズに走行したい 	経路、料金、交通状況の現状や所要時間 ('はしれGo!'リンク)	
<ul style="list-style-type: none"> ・経路や出口を知ってスムーズに運転したい 	分岐・出口等の経路案内の車載動画 (YouTube動画リンク)	
<ul style="list-style-type: none"> ・万博来場に合わせて周辺地域も観光したい 	周辺地域観光の情報 ('おでかけ情報'リンク)	



(料金検索機能の充実)



<参考:現在の通常メニュー>



(リッチメニューのタブ化、ETC利用履歴提供サービスとの連携)

3. 地域のにぎわい創出

① ライトアップの実施

長大橋や中之島橋脚において、ライトアップにより景観を演出し、地域のにぎわい創出や活性化等に貢献します。



CO2排出削減に
つながり環境にもやさしい
LED照明を採用

「万博100日前 大阪光のまち一斉点灯」(主催:光のまちづくり推進委員会、後援:(公社)2025年日本国際博覧会協会)の様子
(左:中之島橋脚 右:天保山大橋)

② 道路構造物の美装化

万博会場周辺や観光客が集まるスポットを中心に、道路構造物を美装化することで街並みや自然環境と調和した景観形成に活用し、コミュニティ空間の魅力の創出・向上に取り組みます。



北港JCT付近



千日前付近(常設足場)

賑わいのある美しい街並みとの調和 (千日前付近)

- 場所:難波交差点(御堂筋と千日前通の交差部分)をまたぐ区間(約60m)
- 材質・外観等:
 - ・道路構造物に設置した常設足場を活用
 - ・軽量で定期的なメンテナンスが不要な「膜材」を使用
 - ・御堂筋周辺の建築物や風景にあった落ち着いた色合いで、圧迫感のないスタイリッシュなデザインを採用
- 完成予定時期:2025年3月頃

4. 新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

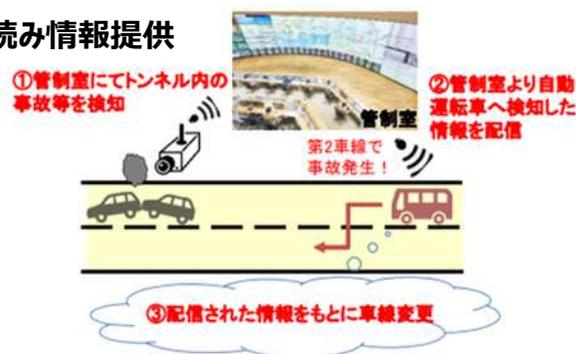
① 自動運転車の走行実装に向けた調整や情報提供等

今後の自動運転の拡大等も見据え、万博会場へのシャトルバスのアクセスルートにおいて、関係機関と連携し、自動運転車の走行をインフラ側から支援する合流支援システム等の実装に取り組めます。

合流支援システム



先読み情報提供



※大阪市自動運転バス実装協議会資料より一部加工

② パーソナライズされた安全・安心・快適なモビリティサービスの実現に向けた取り組み

リアルタイムな交通状況を予測し一人ひとりと交通全体にとって最適な移動の組合せを導出する、デジタルツイン技術を活用したモビリティサービスの開発に関する実証実験や万博MaaSへの技術協力等に取り組めます。

従来

○ 過去実績や調査に基づく渋滞予測(HP等に掲載)

リニューアル工事での交通影響予測

イベントの予定や当日の事故など、日々異なる変化は考慮できない

万博時 一部を実証実験として試行※

リアルタイム交通予測

(移動の予定や現在の交通状況を踏まえた逐次予測)

○ 人の移動に関する予測・予定・予約情報の活用
○ リアルタイム観測に基づく交通状況の逐次予測

データ取得

- 人の移動 (予測)
- 交通環境 (リアルタイム観測)
- 交通状況 (クルマの流れ)
- 天気 (天気)

逐次予測 (交通状況)

日々の傾向やインシデントに対応

事故発生

阪神圏

お客様の経路や交通全体に与える影響などを逐次予測

実証実験による一部試行や万博MaaSへの技術協力等を行う予定

※共同研究者の協力により実施予定

将来

人やクルマの動きをリアルタイムかつ高精度にて観測するデータ取得技術

都市圏の人の流れや交通状況を日々の変化も踏まえて逐次予測する技術

センシング

シミュレーション

パーソナライズ

ソリューション

お客様一人ひとりの違いや現在の状況にも配慮した内容・タイミングにて個別提案する技術

お客様一人ひとりと交通全体にとって最適解となる移動の組合せを膨大な組合せから導出

登録情報に基づき、状況に応じた賢い走り方を提案

5. 万博(バーチャル会場)への出展

大阪・関西は、瀬戸内海から大阪湾を経て内陸へと至る、我が国の水上・陸上交通の結節点としての機能を果たすことで、古代においては主に政治、近世においては主に商業・経済の分野で大きな役割を担い、そして現在に至るまで、永続的に発展・成長してきた世界でもまれな「サステナブル・シティ」です。

その大阪・関西の地で、阪神高速は、かつて交通インフラとして機能した水辺空間を高速道路網として再利用させていただくことで、関西都市圏の大動脈として、安全・安心・快適なネットワークを通じてお客さまの満足を実現し、関西の暮らしや経済の発展に貢献するよう取り組んでいます。

阪神高速は、万博バーチャル会場に出展し、「サステナブル・シティ」大阪・関西の歴史と、それに深く関わってきた交通の変遷・進化・その先にある未来像を、最新のVR技術を活用したCG映像と自由に散策できるVR空間によりお示しすることで、先人達の努力や営みに感謝しつつ、次世代にその思いをつなげていきます。
(出展期間:2025年5月13日~19日)



(バーチャル会場への出展イメージ)



阪神高速独自プラットフォーム



④ VR空間を自由に散策

アバターで港大橋・東横堀川をVR体験

